



2020年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年8月5日

上場会社名 ユニフォームネクスト株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3566 URL <https://uniformnext.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 横井 康孝
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 吉川 貴之 TEL 0776 (43) 1034
 四半期報告書提出予定日 2020年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第2四半期の業績（2020年1月1日～2020年6月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	2,427	0.5	106	△42.0	117	△36.8	79	△34.1
2019年12月期第2四半期	2,414	24.2	183	13.9	185	15.0	120	14.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	31.98	31.76
2019年12月期第2四半期	49.00	48.29

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第2四半期	3,332	2,100	63.0
2019年12月期	3,140	2,041	65.0

(参考) 自己資本 2020年12月期第2四半期 2,100百万円 2019年12月期 2,041百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2020年12月期	—	0.00			
2020年12月期（予想）			—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年12月期の業績予想（2020年1月1日～2020年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期 2 Q	2,487,162株	2019年12月期	2,483,162株
② 期末自己株式数	2020年12月期 2 Q	66株	2019年12月期	66株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期 2 Q	2,483,514株	2019年12月期 2 Q	2,459,896株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算説明会内容の入手方法）

当社は、2020年8月7日（金）にアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローの状況	3
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、期初の緩やかな回復基調での推移が一転し、後半は新型コロナウイルスの拡大による自粛に伴い、急速な悪化が続き極めて厳しい状況にありました。企業収益は急速に減少し雇用情勢は弱い動きとなっております。

かかる状況の下、当社は、空調服等の売れ筋商品を中心とした在庫拡充を積極的に行い、5月の気温上昇に伴った季節性商品の需要に対応いたしました。また、新型コロナウイルスによる自粛、解除の動きに合わせて臨機応変にカタログ配布やWEB広告を展開し効率的な集客に努めました。2月末にリリースした新受発注システムは受発注処理の効率化、ユーザーのECサイト購入の利便性向上に貢献しております。訪問販売においては、引き続きユニフォームを通じた顧客企業業績の改善をテーマとし、顧客の潜在的ニーズの発見と充足に重点を置いて提案の深化に取り組んでまいりました。

販売状況に関して、サービス部門においては、3月からの新型コロナウイルス感染拡大により、飲食店の営業時短や自粛、イベントの中止などの影響を受け売上が伸び悩んだ結果、売上高は1,057,370千円（前年同四半期比11.6%減）となりました。

オフィスワーク部門においては、2月までは記録的暖冬の影響により防寒商品の販売が伸び悩み、3、4月も新型コロナウイルスによる経済活動の自粛の影響を受けたものの、5月以降は自粛解除による反動と在庫を拡充した空調服の販売により売上を大きく伸ばした結果、同部門の売上高は1,231,452千円（同18.5%増）となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の経営成績は、売上高2,427,050千円（前年同四半期比0.5%増）、営業利益106,532千円（同42.0%減）、経常利益117,582千円（同36.8%減）、四半期純利益79,421千円（同34.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末に比べ192,026千円増加し、3,332,983千円となりました。流動資産は、前事業年度末に比べ294,960千円増加いたしました。これは主に、受取手形及び売掛金が184,568千円、商品が77,888千円増加したことによるものであります。固定資産は、前事業年度末に比べ102,933千円減少いたしました。これは主に、固定資産の圧縮による有形固定資産の減少68,632千円によるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ133,076千円増加し、1,232,641千円となりました。流動負債は、前事業年度末に比べ187,079千円増加いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金が237,059千円増加し、電子記録債務が6,710千円、未払法人税等が33,200千円減少したことによるものであります。固定負債は、前事業年度末に比べ54,002千円減少いたしました。これは主に、長期借入金が52,476千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ58,950千円増加し、2,100,341千円となりました。これは主に、譲渡制限付株式報酬としての新株式の発行による資本金の増加2,180千円、資本剰余金の増加2,180千円、四半期純利益79,421千円及び剰余金の配当24,830千円によるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、1,363,123千円となり、前事業年度末に比べ、48,043千円減少いたしました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、60,896千円となりました。これは主に、税引前四半期純利益119,650千円、減価償却費37,860千円と売上債権の増加184,568千円、たな卸資産の増加78,645千円、仕入債務の増加230,349千円、法人税等の支払額68,820千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、31,633千円となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出35,312千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、77,306千円となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出52,476千円、配当金の支払額24,830千円によるものであります。

(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症による影響が当社に与える未確定要素が多いことから、適切かつ合理的な業績予想の算出が非常に困難なため、2020年12月期(2020年1月1日～2020年12月31日)の業績予想の開示につきましては、現時点で未定としております。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年12月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,411,166	1,363,123
受取手形及び売掛金	138,507	323,075
商品	299,805	377,693
貯蔵品	843	1,600
その他	12,060	91,924
貸倒引当金	△55	△129
流動資産合計	1,862,329	2,157,289
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	815,152	732,554
構築物(純額)	43,674	41,584
機械及び装置(純額)	19,150	16,558
車両運搬具(純額)	1,174	2,068
工具、器具及び備品(純額)	12,131	10,039
土地	216,779	216,779
有形固定資産合計	1,108,062	1,019,585
無形固定資産		
ソフトウェア	12,526	116,004
その他	114,500	1,145
無形固定資産合計	127,027	117,150
投資その他の資産	43,537	38,958
固定資産合計	1,278,627	1,175,693
資産合計	3,140,956	3,332,983
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	148,517	385,577
電子記録債務	229,557	222,847
1年内返済予定の長期借入金	104,952	104,952
未払法人税等	75,788	42,587
賞与引当金	36,500	30,000
その他	258,327	254,758
流動負債合計	853,643	1,040,722
固定負債		
長期借入金	228,448	175,972
ポイント引当金	13,581	12,208
長期末払金	3,893	3,739
固定負債合計	245,922	191,919
負債合計	1,099,565	1,232,641
純資産の部		
株主資本		
資本金	346,719	348,899
資本剰余金	350,988	353,168
利益剰余金	1,343,839	1,398,429
自己株式	△156	△156
株主資本合計	2,041,391	2,100,341
純資産合計	2,041,391	2,100,341
負債純資産合計	3,140,956	3,332,983

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
売上高	2,414,404	2,427,050
売上原価	1,504,038	1,517,641
売上総利益	910,365	909,409
販売費及び一般管理費	726,727	802,877
営業利益	183,637	106,532
営業外収益		
受取利息	1	0
受取補償金	—	8,400
祝金受取額	1,420	—
その他	1,603	3,184
営業外収益合計	3,025	11,585
営業外費用		
支払利息	717	535
営業外費用合計	717	535
経常利益	185,945	117,582
特別利益		
補助金収入	—	70,700
特別利益合計	—	70,700
特別損失		
固定資産圧縮損	—	68,632
特別損失合計	—	68,632
税引前四半期純利益	185,945	119,650
法人税、住民税及び事業税	68,866	36,175
法人税等調整額	△3,466	4,054
法人税等合計	65,399	40,229
四半期純利益	120,545	79,421

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	185,945	119,650
減価償却費	25,716	37,860
固定資産圧縮損	—	68,632
補助金収入	—	△70,700
貸倒引当金の増減額(△は減少)	34	74
賞与引当金の増減額(△は減少)	7,944	△6,500
ポイント引当金の増減額(△は減少)	1,616	△1,373
受取利息及び受取配当金	△1	△1
支払利息	717	535
売上債権の増減額(△は増加)	△83,423	△184,568
たな卸資産の増減額(△は増加)	△77,363	△78,645
仕入債務の増減額(△は減少)	191,742	230,349
その他	98,600	14,937
小計	351,527	130,250
利息及び配当金の受取額	1	1
利息の支払額	△717	△535
法人税等の支払額	△56,345	△68,820
営業活動によるキャッシュ・フロー	294,465	60,896
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△48,515	△1,353
無形固定資産の取得による支出	△61,918	△35,312
その他	352	5,032
投資活動によるキャッシュ・フロー	△110,081	△31,633
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△52,476	△52,476
配当金の支払額	△24,598	△24,830
財務活動によるキャッシュ・フロー	△77,074	△77,306
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	107,309	△48,043
現金及び現金同等物の期首残高	1,291,519	1,411,166
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,398,828	1,363,123

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大による当社の事業活動への影響は、現時点におきましては、限定的な範囲にとどまっております。しかし、新型コロナ感染症は経済、企業活動に広範な影響を与える事象であり、また、今後の広がり方や収束時期等を予想することは困難なことから、当第2四半期会計期間末時点で入手可能な外部の情報等を踏まえて、今後、2020年12月期の一定期間にわたり当該影響が継続するとの仮定のもと、繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。

(セグメント情報)

当社は、ユニフォーム販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。